

# ベチバーの特性について

代表的なグリーンベルト用植物の長所と欠点比較

種類	長所	欠点
ベチバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期生育が早い。</li> <li>・雑草化しない(畑に侵入しない)</li> <li>・分けつにより根元が太くなる</li> <li>・栽培管理が容易</li> <li>・倒れにくい</li> <li>・マルチ資材として活用が容易</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度が低い(雑草と混同)</li> <li>・普及体制が未整備</li> <li>・刈り取らずに放置し続けると倒れる</li> <li>・イネヨトウ(きび害虫)が寄生する</li> </ul>
ゲットウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄ではおなじみ</li> <li>・入手は比較的簡単</li> <li>・栽培は容易</li> <li>・ムーチャーカーサで活用できる</li> <li>・マルチ資材も活用可</li> <li>・和紙の原料や薬草としての活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育が遅い(ベチバに比べると)</li> <li>・圃場内に侵入する(管理必須)</li> <li>・根元が太くならず、開帳した生育</li> </ul>



ベチバー



ゲットウ

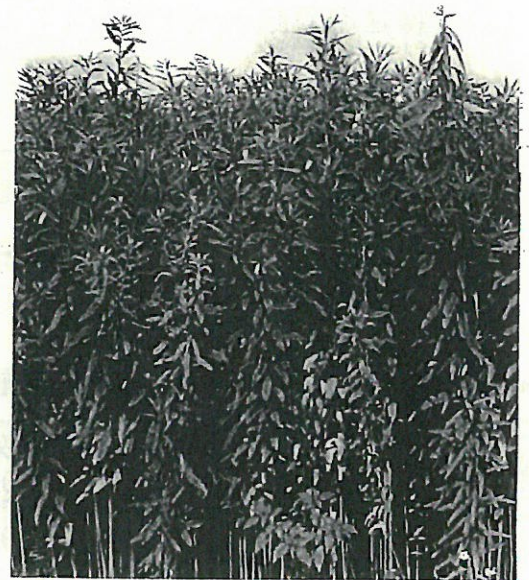
## ベチバー栽培のポイント

- ①ほったらかさないこと。
- ②グリーンベルトとして完全機能するのに3年はかかる。
- ③このため葉色が落ちたら適宜株元施肥で生育を促進する。
- ④一年に一度は草刈り機で地上20～40cm程度から刈取り再生を促す。

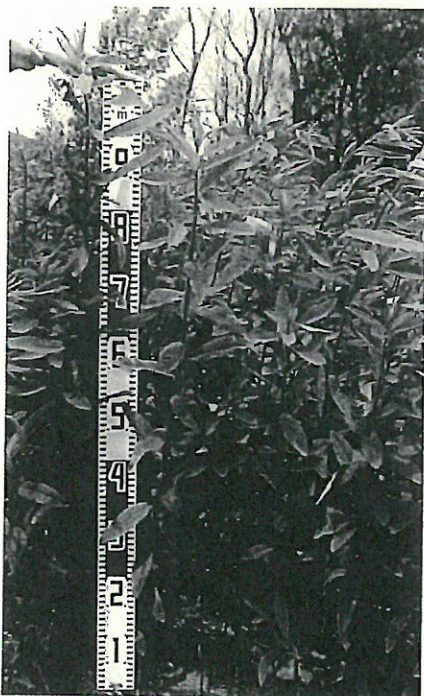
# クロタラリア

生育旺盛なクロタラリアは、サトウキビ畑で一番多く栽培されています。沖縄の緑肥の代表格です。

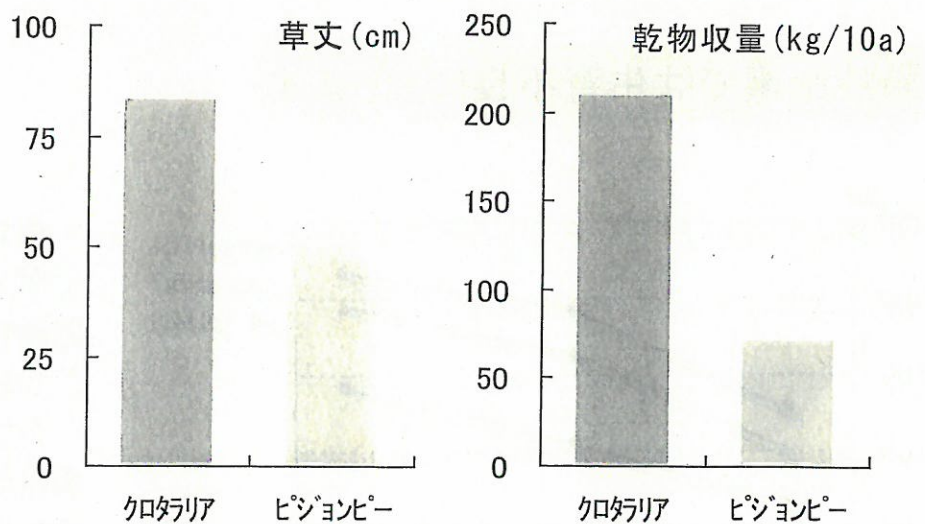
分類	マメ科	
播種量	5kg/10a	
播種適期	3~5月	
施肥	無施肥	
鋤込み適期	開花期または生育盛期（落葉前）	
鋤込み適期まで日数	70~90日（4月下旬に播種した場合）	
鋤込み適期の	草丈	170~200cm
	乾物収量	700~1000 kg/10a
	C/N比	20~25
学名	クロタラリア・ジュンシア	
いい組み合わせ	サトウキビ、痩せ地の野菜	
悪い組み合わせ	マメ科の野菜	
主な効果	地力窒素の増加	



## 発芽性および初期生育が極めて良好です



播種後43日のクロタラリア  
草丈約1mに伸長（石垣市）



・クロタラリアとピジョンピーの初期生育の比較  
（播種後40日、H14~15年の2年間の平均。宮古島市平良）

畑が空く期間が短いときや、緑肥の播種が遅れてしまったときは、初期生育の速いクロタラリアが適しています。（春~夏）

# 共生している根粒菌が窒素固定するので、痩せ地でもよく育ちます

## ♣ 試験圃場の土壌化学性

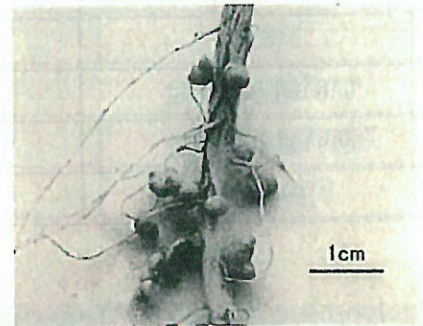
調査地点	土壌型	pH (H <sub>2</sub> O)	腐植 (%)	可給態リン酸 (mg/100g)	CEC (me/100g)
圃場A	国頭マージ	6.4	0.7	15.2	5.5
	(土壌診断基準値)	5.5~6.5	2.0≤	20≤	12≤
圃場B	島尻マージ	7.6	1.8	5.0	11.3
	(土壌診断基準値)	6.0~7.0	2.0≤	20≤	18≤
圃場C	ジャーガル	8.3	1.3	1.5	17.2
	(土壌診断基準値)	7.0~8.0	2.0≤	20≤	25≤

土壌診断基準値以下の  
痩せ地でも・・・

## ♣ 播種後約70日のクロタラリアの生育調査

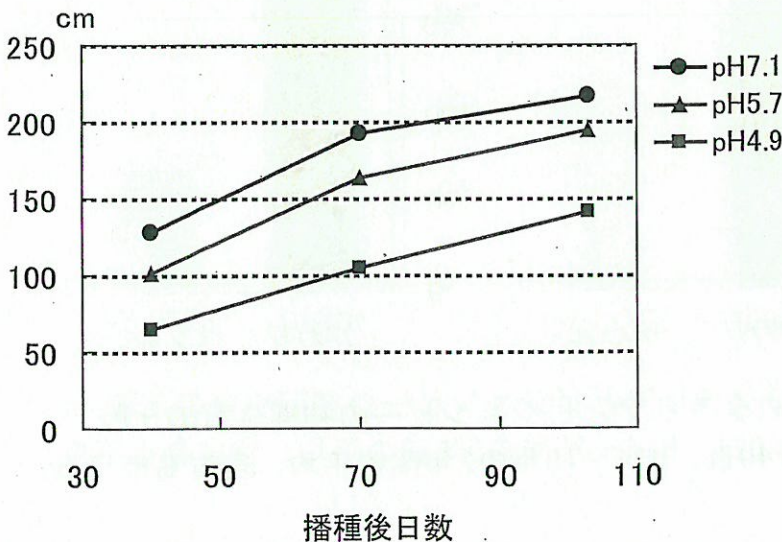
調査地点	草丈 (cm)	生草収量 (t/10a)	乾物収量 (t/10a)
圃場A	177.8	2.1	0.69
圃場B	169.7	2.7	0.62
圃場C	148.3	2.9	0.73

生草収量で  
2t/10a以上です！



クロタラリアの根粒。  
中に根粒菌が生息している。

## 酸性土壌では生育不良になります



pH(H<sub>2</sub>O)の違いがクロタラリアの草丈に及ぼす影響  
(国頭マージの同一圃場内でpHを3段階設定して試験実施)

痩せ地でもよく生育するクロタラリアですが、酸性土壌は苦手です。強酸性土壌では、発芽しても枯死してしまうこともあります。

クロタラリアが生育不良になった場合は、pHを調べてみてください。次作のために、酸度矯正をする目安になります。

